

復興に駆ける！

第 38 号
平成 26 年 10 月 15 日発行
岩手県立
生涯学習推進センター
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 10月3日に当センターで開催された「復興協働セミナー」について、【パネルフォーラム】、【ポスターセッション】、【講演・トークセッション】の内容を3回に分けて詳しく紹介します。

(1)【パネルフォーラム】

テーマ 「内陸避難者支援の現状と今後の方向性」



地域づくり支援センター 若菜さん

午前中に行ったパネルフォーラムは、パネリストに「一般社団法人 SAVE IWATE」生活支援相談員 阿部知幸さん（法人側）、

「花巻市総合政策部防災危機管理課」震災対策係長 城守敏浩さん（行政側）、
「きたかみ復興支援協働体」葛巻徹さん（NPOや行政の協働体）
を招き、「NPO法人いわて地域づくり支援センター」常務理事

若菜千穂さんのコーディネートにより行われた。
阿部さんからは、盛岡市内に避難されている方の現状について「震災から4年目を迎え、盛岡への移住を決めている方も出てきている。抱えている課題が多様化してきており、福祉サイドにつなげるなど、連携しながら取り組んでいる」などの発言があった。



SAVE IWATE 阿部さん



防災危機管理課 城守さん

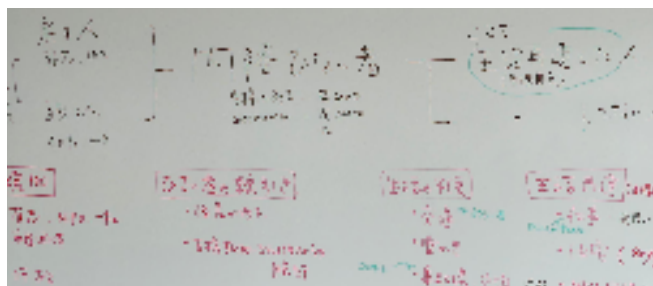
城守さんからは、花巻市が行っている避難者支援制度の概要や、避難者に対して実施したアンケート結果についての報告の後、「避難されている方の中には、高齢の方も多く、孤立や健康問題への対応も必要である」などの発言があった。



復興支援協働体 葛巻さん

葛巻さんからは、きたかみ復興支援協働体の概要について「内陸に避難されてきている方は、それぞれ状況が違っているので、NPOや社会福祉協議会、行政が連携を図りながら、更には沿岸部とも連携を図る必要がある」などの発言があった。

コーディネーターの若菜さんが、ホワイトボードにパネリスト3人の話を的確にまとめ、参加者からの質問を受けながらフォーラムが進んだ。参加者からは、「(今回)沿岸部から参加された方から、現状を聞きたい」などの声もあり、更に情報共有がなされた。今後、帰還支援やコミュニティの再構築などを進める上で、市町村や立場を超えた情報共有と連携の必要性を改めて感じた。



若菜さんがホワイトボードにまとめた内容(一部)